



認定こども園しおどめの森 きんだ一園舎新築工事 地鎮祭を執り行いました

認定こども園しおどめの森「きんだ一園舎新築工事」に先立ち、令和8年1月21日(水)、建設予定地にて地鎮祭を執り行いました。本地鎮祭は、仏式にて執り行われ、当日は理事長をはじめ、園長、関係者のほか、設計を担当する株式会社時設計、施工を担当する積水ハウス株式会社の皆さまにご参列いただき、工事の安全と園舎完成後の穏やかな運営を祈願いたしました。厳かな雰囲気の中、読経や四方位清めの儀が進められ、これから始まる園舎づくりへの思いを新たにす節目の一日となりました。



園児たちが建設予定地を見学

地鎮祭当日には、認定こども園しおどめの森に通う園児たちも、職員とともに建設予定地を訪れました。普段なかなか目にすることのない式典の様子や、これから園舎が建つ場所を前に、子どもたちは興味深そうに周囲を見渡し、「ここに新しいお部屋ができるの?」「大きいね」といった声も聞かれました。完成を迎えるまでの過程を実際に目にし、感じることは、子どもたちにとっても貴重な体験となります。新しい園舎が「誰かがつくってくれた場所」ではなく、「自分たちの園」として心に刻まれていく、その最初の一步となる時間でした。



新園舎完成に向けて

きんだ一園舎は、これまでの保育の積み重ねを大切にしながら、より安全で快適な環境を整えるため、新築移転という形で新たなスタートを切ります。自然光を取り入れた明るい空間設計や、木のぬくもりを感じられる内装、年齢ごとの保育環境を丁寧に整えた園舎は、日々の生活や遊び、行事、食育など、多様な活動を支える場となる予定です。今回の地鎮祭を経て、いよいよ本格的に工事が始まります。今後も工事の進捗や園舎完成までの様子については、ホームページやお知らせを通じて随時ご報告してまいります。地域の皆さま、保護者の皆さまとともに歩む園づくりとして、引き続き温かく見守っていただければ幸いです。

